

# ○入学前に心がけたいこと

## 1. 学校への期待を

「小学校は楽しい所だよ。早く4月になるといいね。」といったように学校への期待感をもたせてください。学校は楽しいところです。明るい期待をもたせることにより、学校、先生、友達に対し、積極的に関心を持つことができます。

## 2. 一日の生活で必要な習慣の習得を

- ・起床、就寝 決められた時刻にする。（早寝、早起き、朝ご飯の習慣）
- ・身じたく 衣服・くつの脱ぎ着を一人でする。脱いだものをたたむ。  
※学校生活に向けて、服装等の準備をしながら練習するとよいです。
  - 衣服・ ・なるべく一人で簡単に脱ぎ着のしやすい服を着させてください。ボタンやファスナーの扱いに慣れさせ、後ろファスナーの服などを着せる場合は確実にできるようにさせてください。また、つなぎの服や裾が広がったズボンなどは場合によっては、トイレで手際よくいかない服装になってしまう場合もあるので注意してください。
  - くつ・ ・自分で運動靴を脱いだり履いたりできるようにしてください。自分の靴が分かるように分かりやすいところに必ず記名しておいてください。マジックテープで足首を固定できるものがよいです。
  - 頭髪・ ・学校では、ピンやゴムは華美な物は避け、運動をする時は、必ず髪の毛をしばることにしています。運動によって結ぶ位置にも注意が必要です。
  - はんから・ティッシュ・ ・いつもポケットに携帯する習慣を。どちらも落としやすいので、はっきりとわかりやすく記名をしてください。（移動ポケットは、取れやすく危険なこともあるので、できるだけポケットのある服にするとよい。）
- ・言葉遣い 返事やあいさつなどがきちんとと言えるようにしましょう。  
「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」「はい」「いいえ」「ありがとう」「ごめんなさい」
- ・排便 トイレの正しい使い方（学校は和式トイレが多くあります。）  
用便後の手洗いの習慣
- ・歯磨き 朝晩必ずする。
- ・洗顔 毎朝必ずする。
- ・食事 偏食をしない。時間内に食べ終わることができる。学校での食事の時間は、約20分です。静かに食べる。食べた後をきれいに片付ける。
- ・遊び 友達と元気よく外で遊ぶ。体を動かす。  
友達とのいざこざ→自力解決できるよう見守る。
- ・手伝い 簡単な仕事を間違いなくできるようにすることから始める。
- ・テレビ、ゲーム 時間、内容を子供と話し合っ決めて。
- ・感染予防 **マスクの着用。小まめに手洗いをする。**  
**日ごろから正しく着用できるように、ご家庭でご指導よろしくお願ひします。**



（鼻まで覆って着用する。）

### 3. 意志表示がはっきりできるように

- ・「はい」「いいえ」がきちんと言えるようにしましょう。
- ・用便、体の不調等を伝えることができるようにしましょう。

### 4. 自分のことは自分で

- ・身のまわりの片付け、整理整頓をする。
- ・学用品の出し入れ（重ねる、そろえる）→ランドセルの中、引き出しの中
- ・人の話は最後まで聞けるようにしましょう。→相手の目を見て、静かに
- ・自分の名前がはっきり言え、呼ばれたら返事をし、読めて、書けるように。


文字は入学してから教えることになっていますが、自分の名前だけでも、できるだけ読めて正しい書き順で書けるようにしておいてください。

- ・家族（親・兄弟姉妹・祖父母）の名前、住所、電話番号、学校名や地区名が正確に言える。
- ・通学路が分かり、安全に歩けるようにしましょう。→交通ルール等
- ・雑巾がしぼれる。傘を閉じられる。紐が結べる。（固結びでも良いので）
- ・口や手を清潔にし、鼻をかむ習慣をつける。

学校ですぐできるように、練習させておいてください。

### 5. しつけの見直しを

- ・明るいあいさつができるようにしましょう。
- ・人に迷惑をかけたり、人を傷つけたり、絶対にしないようにしましょう。
- ・人の物を勝手にとったり、使ったりしないようにしましょう。
- ・道路では、絶対に飛び出さないようにしましょう。



おはよう  
ございます！

家庭でのしつけ・生活習慣が学校生活や将来に大きく影響します。

### 6. お父さん・お母さんへのお願い

- ◎ 社会のルール（善悪）を繰り返ししつけましょう。
- ◎ 先に手を出してしまわずに、できるだけ見守ってあげましょう。
- ◎ 子供の話をたくさん聞いてあげましょう。
- ◎ どんな時も一呼吸おいて、おだやかな口調で話しましょう。
- ◎ 子供とふれあう時間、スキンシップを十分にとりましょう。
- ◎ 子供のやる気は最低限の欲求が満たされてこそ出てくるものです。食欲・睡眠欲・自分が認められ、愛されているという安心感・自己肯定感を満たしてあげてください。